

青少年体験学習ボランティア養成研修Ⅱ フォローアップ

平成27年10月3日(土)～4日(日)

【ねらい】 国立山口徳地青少年自然の家などでボランティア活動をしている方やこれから活動したいと思っている方を対象に、今後のボランティア活動に対する参加意欲の向上とボランティアとしてのスキルの向上を図る。

【参加者】 大学生25名、社会人1名

【プログラムの内容】

10月3日(土)

11:00 学び合う関係をつくろう！
～徳地アドベンチャープログラム
18:30 みんなで語ろう！とくちのボランティア

10月4日(日)

9:30 自分が楽しもう！みんなを楽しませよう！
13:00 これからの活動につなげよう！

学び合う関係をつくろう！



徳地アドベンチャープログラムを通して、参加者同士の繋がりを創り、刺激し合う関係性を築くことができました。さまざまな大学やサークルなど自分が所属する団体の枠を越え、「徳地ボランティア」としての団結を深めました。

自分が楽しもう！みんなを楽しませよう！



ボランティアの豊かな発想を活かして、スタンプ活動を実施。限られた時間でしたが、会場は大きな笑いに包まれました。キャンプに参加する子どもたちを楽しませるのはもちろんですが、ボランティア自身も楽しむことも同じくらい大切です。

みんなで語ろう！とくちのボランティア



学び合い刺激し合うことができる関係の下、焚火を囲んで先輩ボランティアから様々な話を聞きました。「もっとこんなことがしたい！」等の悩みなどを共有でき、時間いっぱいまで語り合いました。

これからの活動につなげよう！



2日間で学んだこと、刺激を受けたこと、今後学んでいきたいこと、そしてこれからのチャレンジを、みんなで共有しました。この2日間で終わりではなく、ここからがはじまり。みんなのチャレンジを、私たち自然の家も応援します。

【参加者の声】 これからのボランティア活動に、もっと挑戦したい。

他の大学の人とも交流していきたい。

【成果】 ・自分が所属する団体以外の人との交流をとおして、ボランティア活動への意欲を高めることができた。
・ボランティア活動をはじめ、様々なことにチャレンジしていくことの大切さを感じてもらうことができた。

【課題】 ・一過性で終わらせないために、様々なボランティアの活動機会を提供していくこと。
・ボランティア活動での悩み等を相談しやすいように、自然の家職員との関係を一層深めていくこと。

【今後の展望】 ボランティアたちが自主的に集まり、刺激し合うことで、活動への意欲を互いに高め合ってほしい。